

所 属 鳥取県漁業協同組合（境港支所）

氏 名 おぐり まこと
小栗 慎 （37歳）

船 名 かいしんまる
海 慎 丸 4.9トン

漁業種類 小型底びき網



～息子が自分とそっくり！新船に乗るダンディー漁師～！

漁師だった父の背中を見て育った。そんな父に憧れ自分も漁師になると、小さな頃から腹に決めていた。今は小型底びき網漁業を営んでいるが、以前は沖合底びき網漁船に乗っていた。父と兄も沖底船に乗っていて、姉も漁協で働く、まさに漁業一家。最初に沖底船に乗っていた小栗さんは、一人で小型底びき網漁船に乗っても特別苦労はしなかったようだ。むしろ自由に休めるようになったから、一番それが嬉しかったという。

小型底びき網漁業は、基本一人で操業するけれども、いつも出港するときは、同業者と一緒に出港し、操業中も無線でお互い状況を確認したりする。海で何かあった時には、お互いに助け合う、そんな小型底びき網漁業の仲間が最高だと語る。小型底びき網漁業者で、さかいみなと中野港漁村市を行ったり、何かと絆が深く、活気づいている。今後も、仲間の漁師と小型底びき網漁業を盛り上げていきたいと楽しそうに語っていた。

今の目標は、新船の購入費を返済することだそうだ。そして、次は豪邸を建てること。小栗さんことだ。きっとすぐに豪邸が建つに違いない。

～性格温厚。自称魚にも優しい漁師～

仕事を終えて、帰る家には優しく迎えてくれる家族が待ってくれている。奥さんと子供それが何よりの癒やし。子供たちとは、プロレスや野球をして遊んでいる。大人げなく子供に思いっきりプロレス技をかけたたり、キャッチボールでストレスを発散する日々。奥さんにもできる限りの愛情を尽くし、マッサージや温泉旅行にも連れて行ったりと、なんともいいお父さん。

（文責：永島 宗弥）